

三條市職員採用試験における受験資格について

Q 一般事務職の高校卒業程度区分と大学卒業程度区分では、対象となる年齢幅が高校卒業程度区分は大学卒業程度区分の半分ほどしかなく、受験資格が厳しいのではないかと、緩和する考えはないのか。

A 18歳から21歳に限定しているのは、市役所も高校新卒者の雇用の受け皿となるべきではないかと考えての以前からの対応。雇用条件が大きく変わってきている中、改めて年齢要件などについて検討したい。

新型コロナウイルス予防対策等について

Q 三條市としても当面の対応策を決めたが、その後、三條市内勤務

シニア世代の新規就農者に支援を

Q 国が新たに実施する30代、40代、50代の新規就農者に対して、三條市も支援すべきでないか。

A 価格決定力を持つ農業者を育成するため、38歳以下の青年就農者への支援を行なっている。

新型コロナウイルス感染症対策での中小企業支援について

Q 新型コロナウイルス感染問題が市内の中小企業に大きな影響を与えているが認識はどうか。

A サプライチェーンの一角を中国が占めている中、今後の市内企業の冷え込みを懸念している。

Q 商工課で相談にのるべきではないか。商工会議所で会員以外でも利用できる相談体制をとっている。

教員の変形労働時間制

Q 教員の変形労働時間制の導入について三條市はどのように考えて

者において感染者が確認された。市として正確な情報をどこまで把握していたのか。

A 基本的には県からの情報が第一。もう一つは三条郵便局が情報を共有すべき相手であり、これまで密接な情報交換ができていた。

Q 修学旅行の中止でキャンセル料が発生したり、休校に伴う給食の停止で関係する中小業者への支援をどう考えているか。

A 国で制度設計がされるかもしれないため、もう少し冷静に待ちたい。中小業者へのケアについては、国の雇用調整助成金が大きく緩和される中、これを周知していきたい。



※写真はイメージです。

いるのか。

A 学校現場の実情なども検討したうえで検証することが肝要である。

市営住宅入居時の連帯保証人について

Q 三條市の市営住宅入居条件の連帯保証人を外すべきではないか。

A 連帯保証人が確保できないことを理由に入居を断ることはない。



市営島田建替住宅

しらさぎ荘の駐車場不足について

Q 入館者が増え駐車場が不足している。駐車場を拡張できないか。

5G活用で地域課題解決を!

Q 第5世代移動通信システム(5G)運用に伴い、国が推進するローカル5Gによる地域課題解決への可能性をどう捉えるか。

A 多くの住民や企業が求める遠隔医療・自動運転・遠隔ロボット操作などさまざまな分野で活用が見込まれている。当市では今年度ICTを活用した事業において研究を行ってきたが、導入経費・維持費ともに高額で現状では費用対効果を見出せなかった。

Q 市内零細中小事業所における5Gを活用した遠隔医療の導入を検討すべきではないか。

A 産業医のいない大多数の事業所に對して遠隔医療を活用した産業医の指導を実施することで、社員の健康管理に加えて衛生教育を通じた職場全体の健康意識の向上が期待できる。5G導入の効果は検討の余地はあるが、費用対効果を踏まえて研究していきたい。

Q 他自治体に先駆けた通信網整備は、IT企業誘致や三條市立大学の学生募集などへの大きな武器に

A 昨年末に12台分を増設した。傾斜地でありこれ以上の増設は難しいのでソフト対策を検討したい。

新型コロナウイルス対策

Q 情報伝達、感染症予防対策、イベント等自粛の判断基準について問う。

A 広報、ホームページ、メール、ポスターやチラシなどを基本に、非常の際は防災無線も検討。マスクは備蓄が140万枚、市役所や必要であればリスクの高い民間施設にも提供。保健所を有していないので、国や県の情報を的確に入手し冷静に対応する。

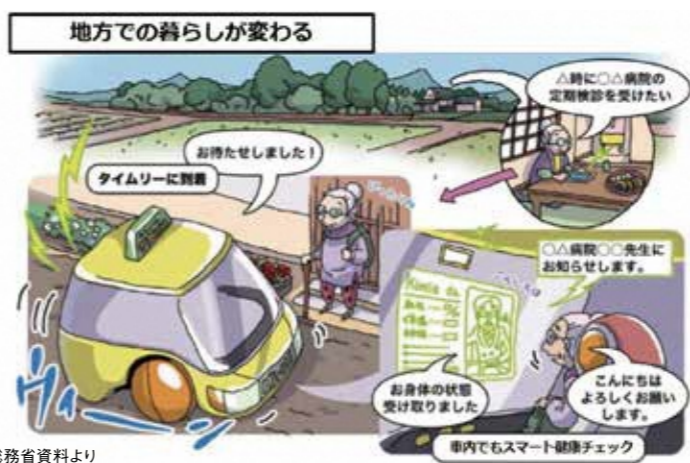
Q この非常事態に対する市長の覚悟を問う。

A 責任を持って陣頭指揮に立ち適切な判断を行う。

市道大浦山手線(道心坂)の改良

Q 改良見込みはどうか。
A 県道に移管し改良要望していくが、時期は未定。

なり得るのではないかと。固定通信で可能なものについて5Gにこだわる必要はない。三條市で活用可能なものとして5Gが欠かせない基盤である自動運転があるが、多額の導入コストを乗り越えてまでの需要があるのか疑問を感じる。調査研究を続けたい。



総務省資料より



道心坂

市の農業政策について

Q 補助災とならない農業用施設の整備について問う。
A 農林土木と災害の対応を含め、地元と連携し研究する。



耕作放棄地